



第84期中間事業報告書

平成24年4月1日～平成24年9月30日

光と空気と水を生かす

Always With You

株主の皆様へ



代表取締役会長
兼最高経営責任者(CEO)

菅谷 節



代表取締役社長執行役員
兼最高執行責任者(COO)

植林 信一

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り
ありがたく厚くお礼申し上げます。

さて、第84期第2四半期連結累計期間(平成24
年4月1日～平成24年9月30日)における事業の
概要についてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済
は、当初、生産活動及び企業収益に緩やかな回復
が見られたものの、期末にかけてその回復に減速
感が強まりました。さらに欧州債務問題は依然と
して根強く、株価が低迷するほか、為替相場も再び
円高となる等、先行き不透明な状況で推移いたし
ました。

建設業界におきましても、民間設備投資に緩や

連結財務ハイライト

受注工事高



完成工事高



経常損益



かな回復がみられるものの、その回復に力強さはなく、未だ設備過剰感は残存する等、受注環境は厳しい状況が続きました。

このような状況のもと、中期経営計画「新たな時代にチャレンジするダイダン」に基づき、受注と利益の確保に取り組んでまいりました結果、当第2四半期連結累計期間における業績は次のとおりとなりました。

受注工事高633億99百万円、完成工事高561億90百万円、経常利益3億81百万円、四半期純損失1億11百万円となりました。

中間配当につきましては、既に公表しておりますように、1株当たり8円とさせていただきます。

下半期の国内経済は、欧州の債務危機や円高、電力供給の制約などの下振れリスクにより、先行き不透

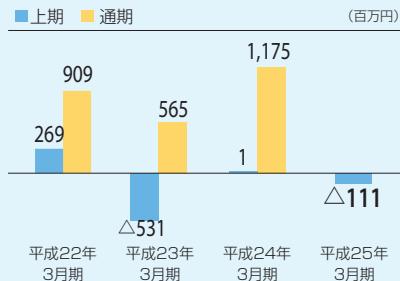
明な状況が続くものと思われま

このような状況のもと、当社グループでは、中期経営計画に基づく戦略、施策を実施することはもちろんのこと、直面する緊急課題にスピード感を持って取り組み、企業価値の向上に取り組んでまいります。

さて、当社は平成25年3月4日で創業110周年を迎えることとなります。これもひとえに株主の皆様の温かいご支援の賜物と、心よりお礼申しあげます。株主の皆様に感謝の意を表すため110周年記念配当として期末配当に3円の増配を予定しております。これからも、総合設備工事業者として、より良い地球環境の実現と社会の発展に貢献してまいります。

今後とも、株主の皆様の一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

■ 四半期(当期)純損益



■ 総資産・純資産・自己資本比率



■ 1株当たり純資産



連結財務諸表

▶ 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度末 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間末 (平成24年9月30日)
【資産の部】		
流動資産		
現金及び預金	22,663	22,995
受取手形・完成工事未収入金	57,434	46,686
有価証券	99	99
未成工事支出金	466	866
材料貯蔵品	0	0
繰延税金資産	1,228	1,177
その他	1,867	1,743
貸倒引当金	△ 6	△ 5
流動資産合計	83,754	73,565
固定資産		
有形固定資産	3,267	3,425
無形固定資産	590	503
投資その他の資産		
投資有価証券	8,118	8,054
前払年金費用	5,929	6,302
その他	2,497	2,410
貸倒引当金	△ 814	△ 807
投資その他の資産合計	15,731	15,959
固定資産合計	19,590	19,888
資産合計	103,345	93,453

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度末 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間末 (平成24年9月30日)
【負債の部】		
流動負債		
支払手形・工事未払金	41,235	32,825
短期借入金	6,233	5,565
未払法人税等	489	108
未成工事受入金	2,404	2,798
賞与引当金	—	1,096
役員賞与引当金	—	42
完成工事補償引当金	168	184
工事損失引当金	1,152	793
その他	5,682	4,541
流動負債合計	57,367	47,956
固定負債		
長期借入金	1,623	1,399
退職給付引当金	1,433	1,391
環境対策引当金	220	220
長期未払金	433	420
海外投資損失引当金	5	2
繰延税金負債	63	231
その他	0	0
固定負債合計	3,780	3,666
負債合計	61,148	51,622
【純資産の部】		
株主資本		
資本金	4,479	4,479
資本剰余金	4,809	4,809
利益剰余金	32,889	32,421
自己株式	△ 647	△ 649
株主資本合計	41,531	41,061
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	564	640
為替換算調整勘定	27	27
その他の包括利益累計額合計	591	668
少数株主持分	73	101
純資産合計	42,197	41,830
負債純資産合計	103,345	93,453

POINT

連結貸借対照表

流動資産は73,565百万円となり、前連結会計年度末に比べ10,189百万円減少いたしました。主な要因は、受取手形・完成工事未収入金の減少(10,747百万円)等によるものです。

流動負債は47,956百万円となり、前連結会計年度末に比べ9,411百万円減少いたしました。主な原因は、支払手形・工事未払金の減少(8,410百万円)及び短期借入金の減少(667百万円)等によるものです。

純資産合計は41,830百万円となり、前連結会計年度末に比べ366百万円減少いたしました。主な要因は、四半期純損失の計上(111百万円)及び剰余金の配当(357百万円)等がその他有価証券評価差額金の増加(76百万円)等を上回ったことによるものです。

自己資本比率は前連結会計年度末に比べ3.9ポイント上昇し44.7%となりました。

▶ 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期連結累計期間 (平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)	当第2四半期連結累計期間 (平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで)
完成工事高	52,429	56,190
完成工事原価	47,058	50,955
完成工事総利益	5,371	5,235
販売費及び一般管理費	4,832	4,919
営業利益	539	316
営業外収益		
受取利息	9	7
受取配当金	93	97
受取保険料	84	93
その他	36	25
営業外収益合計	224	224
営業外費用		
支払利息	79	80
支払保証料	10	8
為替差損	193	60
その他	21	9
営業外費用合計	304	158
経常利益	458	381
特別利益		
固定資産売却益	27	—
移転補償金	24	—
特別利益合計	51	—
特別損失		
固定資産除却損	1	37
投資有価証券評価損	202	185
ゴルフ会員権評価損	—	2
特別損失合計	203	226
税金等調整前四半期純利益	306	155
法人税、住民税及び事業税	110	65
法人税等調整額	190	173
法人税等合計	300	239
少数株主損益調整前四半期純利益又は 少数株主損益調整前四半期純損失(△)	6	△ 84
少数株主利益	4	27
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1	△ 111

▶ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期連結累計期間 (平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)	当第2四半期連結累計期間 (平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	△ 73	1,856
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 230	△ 215
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 227	△ 1,251
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 225	△ 57
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△ 756	332
現金及び現金同等物の 期首残高	23,911	22,635
現金及び現金同等物の 四半期末残高	23,154	22,968

POINT 連結損益計算書

完成工事高は、受注工事高の増加等の影響により、前年同四半期連結累計期間比3,761百万円増の56,190百万円となりました。

完成工事総利益は、完成工事高は増加したものの、完成工事総利益率の低下により前年同四半期連結累計期間比135百万円減の5,235百万円となりました。

営業利益は、前年同四半期連結累計期間比222百万円減の316百万円となりました。主な要因は、完成工事総利益の減少及び、販売費及び一般管理費が前年同四半期連結累計期間比87百万円増加(前年同四半期連結累計期間は、多額の貸倒引当金戻入額の計上という一時的な減少要因が存在)したことによるものです。

経常利益は、為替差損が前年同四半期連結累計期間比132百万円減の60百万円となったものの、営業利益の減少を受け、前年同四半期連結累計期間比77百万円減の381百万円となりました。

四半期純損益は、投資有価証券評価損が前年同四半期連結累計期間比16百万円減の185百万円となったものの、経常利益の減少を受け、法人税、住民税及び事業税、法人税等調整額及び少数株主利益を控除した結果、111百万円の四半期純損失となりました。(前年同四半期連結累計期間は1百万円の四半期純利益)

POINT 連結キャッシュ・フロー計算書

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は1,856百万円(前年同四半期連結累計期間は73百万円の資金の減少)となりました。主な要因は、売上債権の減少等の資金の増加要因が、仕入債務の減少等の資金の減少要因を上回ったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、支出した資金は215百万円(前年同四半期連結累計期間は230百万円の資金の支出)となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、減少した資金は1,251百万円(前年同四半期連結累計期間は227百万円の資金の減少)となりました。主な要因は、短期、長期借入金返済による支出及び配当金の支払い等が、短期、長期借入れによる収入を上回ったことによるものです。

株式の状況/会社の概要

(平成24年9月30日現在)

▶▶ Stock Information&Corporate Profile

▶ 発行株式数及び株主数

発行可能株式総数	80,000,000株
発行済株式の総数	45,963,803株
株主数	3,940名

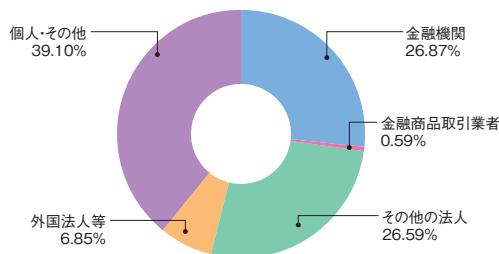
▶ 大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,947	4.36
有楽橋ビル株式会社	1,826	4.09
東京大元持株会	1,756	3.93
大阪大元持株会	1,657	3.71
ダイダン従業員持株会	1,561	3.49
HSBC BANK PLC-MARATHON VERTEX JAPAN FUND LIMITED	1,480	3.31
三信株式会社	1,118	2.50
日本生命保険相互会社	1,089	2.44
名古屋大元持株会	1,055	2.36
株式会社みずほ銀行	959	2.14

(注) 1. 当社は、自己株式1,326,082株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

2. 持株比率は、自己株式1,326,082株を控除して計算しております。

▶ 所有者別分布



▶ 会社概要

社名	ダイダン株式会社
英文社名	DAI-DAN CO., LTD.
創業	明治36年3月4日
設立	昭和8年10月10日
所在地	<本店・大阪本社> 大阪市西区江戸堀1丁目9番25号 <東京本社> 東京都千代田区富士見2丁目15番10号
資本金	4,479,725,988円
事業内容	電気工事、空調工事、水道衛生工事の設計、 監理、施工並びにこれらに関連する事業
従業員数	1,454名

▶ 役員一覧 (平成24年10月1日現在)

代表取締役会長 兼最高経営責任者	菅 谷 節
代表取締役社長執行役員 兼最高執行責任者	植 林 信 一
取締役専務執行役員	大 平 哲 也
取締役専務執行役員	大 河 久 保 弘 晶 和
取締役常務執行役員	北 野 晶 平
取締役常務執行役員	藤 澤 一 郎
取締役執行役員	森 本 英 泰 高
取締役執行役員	杉 太 田 隆 輔
取締役執行役員	逢 坂 美 智 勝
取締役執行役員	常 勤 監 査 役 櫻 井 美 丈 士
常 勤 監 査 役	常 勤 監 査 役 安 土 東 川 憲 二 郎
監 査 役	監 査 役 北 川 村 八 義 朗
執行役員	執行役員 西 多 近 沼 藤 倉 根 谷 未 正 義 樹 明 富 久 雄 志 也
執行役員	執行役員 山 塩 大 荻 平 吉 清
執行役員	執行役員 田 水 憲 政 一 登

ダイダンは、「光と空気と水を生かす」企業です。
建物の電気設備、空調設備、給排水衛生設備をトータルに
コントロールして、快適空間を創造します。



電力設備
情報通信設備
防災設備
特殊電気設備

空気



ビル空調設備
産業空調設備
自動制御設備
特殊空調設備

ダイダン株式会社

光



水



供給設備
処理設備
消火設備
特殊衛生設備

株主メモ

- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 6月中
- 基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
- 1単元の株式の数 1,000株
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同連絡先 〒541-8502
大阪市中央区伏見町3丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
☎ 0120-094-777 (通話料無料)
- 公告方法 電子公告により行います。
当社ホームページに掲載いたします。
(<http://www.daidan.co.jp/finance/koukoku/index1.html>)
- 上場証券取引所 東京、大阪各証券取引所 市場第1部



ダイダン株式会社

〒550-8520
大阪市西区江戸堀1丁目9番25号
電話 (06) 6447-8000

ホームページのご案内



当社のホームページでは、IR情報をはじめとして当社の各種情報を公開しておりますのでご覧ください。

<http://www.daidan.co.jp/>

「CSR報告書2012」の発行について



企業の社会的責任(CSR)の考え方や実績をとりまとめた「CSR報告書2012」は下記のホームページよりダウンロードが可能です。

CSR報告書2012

<http://www.daidan.co.jp/csr/report.html>